

本学会は GC/MS による尿有機酸分析を実施している検査施設が国際的な品質認証機関 (ERNDIM) の認証を受けることを強く推奨します。

現在、保険医療機関での GC/MS による尿有機酸分析は、「D010 特殊分析、8 先天性代謝異常症検査」として診療報酬点数が設定されています。GC/MS による尿有機酸分析は、医療機関から試料を受け取り、試料前処理、GC/MS 測定、データ解析を行い、可能性の高い疾患名を報告する、というプロセスを含みます。その検査の特殊性、専門性に鑑み、検査施設の責任者が医師・非医師を問わず、品質認証機関から検査施設の認証を受けることが推奨され、そのための国際機関「ERNDIM (European Research Network for evaluation and improvement of screening, Diagnosis and treatment of Inherited disorders of Metabolism)」が設立されています。わが国では日本疾患メタボローム解析研究所とミルスインターナショナルがその認証を受けています。中国や東南アジアでも多数の施設が認証を受けています。

本学会は設立当初から GC/MS による有機酸分析の臨床応用に関する研究交流を専門的に行って来ており、この検査の品質維持深化について発信する責務を負う国内唯一の学会であります。国内のGC/MSによる尿有機酸分析を実施している検査施設がERNDIMから認証を受けられることを強く推奨します。

#### [ERNDIM への参加手続き]

- ERNDIM へのアクセス: <http://www.erndim.org/home/start.asp>
- 参加申込期間: Subscriptions for the ERNDIM 2017 EQA Schemes will be open from 20<sup>TH</sup> September 2016 to 14<sup>TH</sup> November 2016.
- 検査項目の選択: EQA Schemes ➡ External Quality Assurance Schemes ➡ Qualitative Schemes ➡ Qualitative organic acids in urine
- 参加費用: € 346 (別途送料: €25 3月末ごろまで)
- 検査試料到着: 4月~5月にかけて検体が届く (2016年度は9検体)
- 分析結果報告と採点通知: 3検体毎の報告を期日までに済ませる。報告締め切りから約1月後に解説付きの採点結果が届き、最後に9検体全体の採点結果も。
- 認証通知: 5月頃